

令和元年度 土曜日の教育支援活動一覧

3市1町35教室

市町名	教室数	活 動 名	主な実施場所	委託	委託団体名
甲賀市	5	水口教室	水口中央公民館・綾野小学校	○	地域で作る土曜日夢の学習
		土山教室	土山中央公民館	○	地域で作る土曜日夢の学習
		甲賀教室	かふか生涯学習館	○	地域で作る土曜日夢の学習
		甲南教室	甲南公民館、甲南青少年研修センター	○	地域で作る土曜日夢の学習
		信楽教室	かふか生涯学習館	○	地域で作る土曜日夢の学習
湖南市	9	いしべっ子学習教室	石部まちづくりセンター		
		みなみっこ土曜講座	石部南小学校		
		土曜教室	岩根まちづくりセンター		
		学校や地域で学ぶ土曜日教室	菩提寺小学校・菩提寺まちづくりセンター		
		菩提寺学区土曜日の教育支援活動～わくわく体験・学習活動～	菩提寺北小学校・菩提寺まちづくりセンター		
		さんさん教室	夏見公民館・柑子袋まちづくりセンター・吉永公民館		
		ひがしっこ教室	みくもふれあいセンター		
		もしよう土曜教室	下田小学校・下田まちづくりセンター		
		土曜教育支援活動	サンヒルズ甲西		
東近江市	15	蒲生マックスクラブ マックスダンス(初級)	蒲生コミュニティセンター	○	蒲生地区 地域教育協議会
		蒲生マックスクラブ マックスダンス(中級)	蒲生コミュニティセンター		
		蒲生マックスクラブ マックスダンス(上級)	蒲生コミュニティセンター		
		蒲生マックスクラブ KIDS FLOWER	蒲生コミュニティセンター		
		蒲生マックスクラブ あかねジュニアバンド	蒲生コミュニティセンター		
		蒲生マックスクラブ 陶芸クラブ	蒲生コミュニティセンター		
		蒲生マックスクラブ ガリ版クラブ	蒲生コミュニティセンター		
		蒲生マックスクラブ 蒲生野太鼓わらべ組	蒲生コミュニティセンター		
		蒲生マックスクラブ 茶道クラブ	蒲生コミュニティセンター		
		蒲生マックスクラブ 囲碁・将棋	蒲生コミュニティセンター		
		蒲生マックスクラブ わくわくチャレンジ隊	蒲生地区を主とした滋賀県内のフィールド		
		玉緒キッズダンス ダンスクラブ(初級)	玉緒小学校		玉緒地区 地域教育協議会
		玉緒キッズダンス ダンスクラブ(中級)	玉緒小学校		
		五個荘地区 OH! 茶! チャ! チャ!	てんびんの里文化学習センター		
		五個荘地区 将棋同好会	五個荘コミュニティセンター		
					将棋同好会
竜王町	6	竜王キッズクラブ おやつクラブ	竜王町公民館 竜王町農村女性の家		
		竜王キッズクラブ サイエンスクラブ	竜王町公民館 他		
		竜王キッズクラブ 書道クラブ	竜王町公民館		
		竜王キッズクラブ チャレンジクラブ	竜王町公民館 他		
		竜王キッズクラブ 和太鼓クラブ	竜王町公民館 他		
		竜王ユースプラス(吹奏楽教室)	竜王町公民館 他		
計	35				

つないで つむいで 織って 創って 地域にあった着こなしできる まちづくり

甲賀市	活動名 : 水口教室	学校運営協議会 : ☐ 有 ☒ 無 有の場合 → 学校運営協議会との協働 : ☐ 有 ☐ 無
主な活動場所 : 水口中央公民館、綾野小学校 年間開催日数 : 45 日 地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）数 : 1 人（兼務 1 人） 平均参加人数 : 20 人 平均スタッフ数 : 5 人 開始年度 : 平成 30 年度 ・活動内容 : ☒ 学習支援 ☒ 体験活動 ☒ 芸術・文化 ☒ スポーツ ☐ その他 ()		

■ 活動の概要・特徴的な活動

参加無料としている。保護者の付き添い見守りがあれば、乳幼児も見学可。
講師、指導者、スタッフは、地域住民が担っている。

■ 外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫

NPO「地域で創る土曜日夢の学習」に事業委託。元教師、自治振興会関係者、地域ボランティアなど、多様な人材に活躍していただいている。

■ 体系的・継続的な取組にするための工夫

事業展開には、地域住民ボランティアの存在が重要となるので、今後の地域におけるボランティアの可能性について確認するためのボランティア調査を行った。
また、市内小学生の食を取り巻く環境についての実態把握と今後の料理教室の展開に役立てていくための調査を実施した。

■ 事業の成果と課題

参加者アンケートをチェック方式でとっているが、おおむね「よかった」との回答を得ている。

参加者やスタッフがもっとも多い地域で、関わる人が多いと、次に向けての提案も出しやすい。

子どもたちの居場所となる事業を支える高齢者がスタッフとして事業に参画することは、社会貢献活動としての高齢者の居場所づくりにもつながる。

■ その他



【 料理教室 】

報告書記入者（ 社会教育スポーツ課 文化係長 ）

つないで つむいで 織って 創って 地域にあった着こなしできる まちづくり

甲賀市	活動名 : 土山教室	学校運営協議会 : ☐ 有 ☒ 無 有の場合 → 学校運営協議会との協働 : ☐ 有 ☐ 無
主な活動場所 : 土山中央公民館 年間開催日数 : 45 日 地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）数 : 1 人（兼務 1 人） 平均参加人数 : 10 人 平均スタッフ数 : 3 人 開始年度 : 令和元年度 ・活動内容 : ☒ 学習支援 ☒ 体験活動 ☒ 芸術・文化 ☒ スポーツ ☐ その他 ()		

■ 活動の概要・特徴的な活動

参加無料としている。保護者の付き添い見守りがあれば、乳幼児も見学可。
講師、指導者、スタッフは、地域住民が担っている。

■ 外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫

NPO「地域で創る土曜日夢の学習」に事業委託。元教師、自治振興会関係者、地域ボランティアなど、多様な人材に活躍していただいている。

■ 体系的・継続的な取組にするための工夫

事業展開には、地域住民ボランティアの存在が重要となるので、今後の地域におけるボランティアの可能性について確認するためのボランティア調査を行った。
また、市内小学生の食を取り巻く環境についての実態把握と今後の料理教室の展開に役立てていくための調査を実施した。

■ 事業の成果と課題

参加者アンケートをチェック方式でとっているが、おおむね「よかった」との回答を得ている。

初めて取り組む地域であるが、他地域へ参画する子どもたちの割合が高い。

全市的に行動範囲が広がることは、他地域の子どもたちや保護者の新しい交流につながる。

■ その他



【 きらねっと広場 】

報告書記入者（ 社会教育スポーツ課 文化係長 ）

つないで つむいで 織って 創って 地域にあった着こなしできる まちづくり

甲賀市	活動名 : 甲賀教室	学校運営協議会 : ☐ 有 ☒ 無 有の場合 → 学校運営協議会との協働 : ☐ 有 ☐ 無
主な活動場所 : からか生涯学習館 年間開催日数 : 45 日 地域学校協働活動推進員 (地域コーディネーター) 数 : 1 人 (兼務 1 人) 平均参加人数 : 10 人 平均スタッフ数 : 5 人 開始年度 : 令和元年度 ・活動内容 : ☒ 学習支援 ☒ 体験活動 ☒ 芸術・文化 ☒ スポーツ ☐ その他 ()		

■ 活動の概要・特徴的な活動

参加無料としている。保護者の付き添い見守りがあれば、乳幼児も見学可。
講師、指導者、スタッフは、地域住民が担っている。

■ 外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫

NPO「地域で創る土曜日夢の学習」に事業委託。元教師、自治振興会関係者、地域ボランティアなど、多様な人材に活躍していただいている。

■ 体系的・継続的な取組にするための工夫

事業展開には、地域住民ボランティアの存在が重要となるので、今後の地域におけるボランティアの可能性について確認するためのボランティア調査を行った。
また、市内小学生の食を取り巻く環境についての実態把握と今後の料理教室の展開に役立てていくための調査を実施した。

■ 事業の成果と課題

本年度から事業を立ち上げた地域であるが、事業数はまだまだ少なく、市内でもっとも取り組みが遅れている。
課題は、身近な地域課題解決のために社会教育、生涯学習に関わる活動を推進していくことの認識と地域人材の発掘であり、自治振興会との連携も図っていく必要がある。
また、参加者が少ない事業でも、すぐにやめるのではなく、積み重ねることが必要である。

■ その他

報告書記入者 (社会教育スポーツ課 文化係長)



【 工作教室 】

つないで つむいで 織って 創って 地域にあった着こなしできる まちづくり

甲賀市	活動名 : 甲南教室	学校運営協議会 : ☐ 有 ☒ 無 有の場合 → 学校運営協議会との協働 : ☐ 有 ☐ 無
主な活動場所 : 甲南公民館、甲南青少年研修センター 年間開催日数 : 45 日 地域学校協働活動推進員 (地域コーディネーター) 数 : 1 人 (兼務 1 人) 平均参加人数 : 10 人 平均スタッフ数 : 5 人 開始年度 : 平成 30 年度 ・活動内容 : ☒ 学習支援 ☒ 体験活動 ☒ 芸術・文化 ☒ スポーツ ☐ その他 ()		

■ 活動の概要・特徴的な活動

参加無料としている。保護者の付き添い見守りがあれば、乳幼児も見学可。
講師、指導者、スタッフは、地域住民が担っている。

■ 外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫

NPO「地域で創る土曜日夢の学習」に事業委託。元教師、自治振興会関係者、地域ボランティアなど、多様な人材に活躍していただいている。

■ 体系的・継続的な取組にするための工夫

事業展開には、地域住民ボランティアの存在が重要となるので、今後の地域におけるボランティアの可能性について確認するためのボランティア調査を行った。
また、市内小学生の食を取り巻く環境についての実態把握と今後の料理教室の展開に役立てていくための調査を実施した。

■ 事業の成果と課題

参加者アンケートをチェック方式でとっているが、おおむね「よかった」との回答を得ている。
子どもたちの居場所となる事業を支える高齢者がスタッフとして事業に参画することは、社会貢献活動としての高齢者の居場所づくりにもつながる。

■ その他

報告書記入者 (社会教育スポーツ課 文化係長)



【 生け花教室 】

つないで つむいで 織って 創って 地域にあった着こなしてできる まちづくり

甲賀市	活動名 : 信楽教室	学校運営協議会 : ☐ 有 ☒ 無 有の場合 → 学校運営協議会との協働 : ☐ 有 ☐ 無
主な活動場所：信楽開発センター、雲井地区農村活性化センター 年間開催日数：45日 地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）数：1人（兼務1人） 平均参加人数：10人 平均スタッフ数：5人 開始年度：令和元年度 ・活動内容：■学習支援 ■体験活動 ■芸術・文化 ■スポーツ □その他（ ）		

■ 活動の概要・特徴的な活動

参加無料としている。保護者の付き添い見守りがあれば、乳幼児も見学可。
講師、指導者、スタッフは、地域住民が担っている。

■ 外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫

NPO「地域で創る土曜日夢の学習」に事業委託。元教師、自治振興会関係者、地域ボランティアなど、多様な人材に活躍していただいている。

■ 体系的・継続的な取組にするための工夫

事業展開には、地域住民ボランティアの存在が重要となるので、今後の地域におけるボランティアの可能性について確認するためのボランティア調査を行った。
また、市内小学生の食を取り巻く環境についての実態把握と今後の料理教室の展開に役立てていくための調査を実施した。

■ 事業の成果と課題

本年度から事業を立ち上げた地域であるが、自然体験教室のように、定期化する事業ができた。

参加者アンケートをチェック方式でとっているが、おおむね「よかった」との回答を得ている。

課題は、個人それぞれの事情で様々ある。（欠食児童、不登校気味の児童、ひとり親家庭の児童、小学生とともに乳幼児と参加する子育て中の親など。）個別の課題がありながらも、誰もが集中して講座に参加できるような提案の積み重ねが求められる。

■ その他

報告書記入者（ 社会教育スポーツ課 文化係長 ）



【 自然体験教室 】

自ら進んで宿題に取り組む子どもたちを支えるいしべっ子学習教室

湖南市	活動名 : いしべっ子学習教室	石部小学校 学校運営協議会 : ☒ 有 ☐ 無 有の場合→学校運営協議会との協働 : ☒ 有 ☐ 無
主な活動場所：石部まちづくりセンター 年間開催日数：5日 地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）数：1人 平均参加人数：88人 平均スタッフ数：15人 開始年度：平成27年度 ・活動内容：■学習支援 □体験活動 □芸術・文化 □スポーツ □その他（ ）		

■ 活動の概要・特徴的な活動

長期休業期間を利用して、地域の大人と触れ合いながら学習することにより、学ぶ意欲を育てる場とする。

■ 外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫

まちづくり協議会や学生ボランティアに協力を依頼し、会場を校区の中心にあるまちづくりセンターに設定した。

■ 体系的・継続的な取組にするための工夫

学校運営協議会の学習支援委員会が中心となり、事前に計画を立て、協議し、子どもたちが安全に楽しく学習ができるように配慮した。参加児童の感想を聞き、部会で反省会を開き、改善すべき点を明確にしている。

低学年、中学年、高学年と3部屋に分け、集中できる環境にし、また、宿題ができた子には用意しておいた学習プリントで復習できるように工夫した。

■ 事業の成果と課題

地域の学習支援ボランティアや校区のまちづくり協議会の協力に支えられ、のべ439人の子どもたちが参加し、楽しく学習ができた。

児童や保護者にも浸透し、年々参加人数が増えてきている。そのため、教室数が増えることにより、学習支援ボランティアの確保が課題である。



【 冬休み学習教室 】

報告書記入者（ 地域学校協働活動推進員 ）

子どもと地域がひびきあう！「ふるさと意識の醸成」を目指して

湖南省	活動名：みなみっこ土曜講座	石部南小学校	学校運営協議会：■有 □無 有の場合 → 学校運営協議会との協働：■有 □無
主な活動場所：石部南小学校 年間開催日数：11日 地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）数：1人 平均参加人数：36人 平均スタッフ数：12人 開始年度：平成28年度 ・活動内容：■学習支援 ■体験活動 ■芸術・文化 □スポーツ □その他（ ）			

■ 活動の概要・特徴的な活動

11回開催される「みなみっこ土曜講座」では、「ふるさと意識の醸成」「主体性の育成」を大きな柱とし、校区にある県立近江学園を舞台に子どもたちへの研修を行ったり、地域に伝わる伝統行事に参加したりと、地域の特徴を生かした活動になっている。

■ 外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫

学校広報誌と共に学校応援団活動を紹介した広報誌を発行している。
石部南まちづくり協議会活動へ参加し交流を行っている。

■ 体系的・継続的な取組にするための工夫

企画段階からの児童の参画により、子どもたちの思いを生かしながら実施している。



【 ふれあい広場に参加しよう！ 】

■ 事業の成果と課題

講座によって参加学年のかたよりがあるため、参加対象学年をどのように設定するかが難しい。
夏休み子ども教室は参加者が多く、1人のボランティアへの負担が大きかった為、人数制限や教室を分けて開催する。

■ その他

学校運営協議会理事が、児童会本部の児童との懇談会をもち、実際に子どもの声を企画に生かしている。

報告書記入者（ 地域学校協働活動推進員 ）

個々の課題と成長を共有した学習支援 ～ 一対一の関わりを大切に ～

湖南省	活動名：土曜教室	岩根小学校	学校運営協議会：■有 □無 有の場合 → 学校運営協議会との協働：■有 □無
主な活動場所：岩根まちづくりセンター 年間開催日数：20日 地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）数：1人 平均参加人数：6人 平均スタッフ数：7人 開始年度：平成22年度 活 動 内 容：■学習支援 □体験活動 □芸術・文化 □スポーツ □その他（ ）			

■ 活動の概要・特徴的な活動

個別の指導・支援を要する通常学級児童の内、校内の協議結果に保護者の合意が得られた児童を対象として実施している。通常学級では実現が難しい一対一の指導が可能な体制（児童とスタッフの人数）を構築し、国語と算数の基礎的学習を中心に位置づけている。

■ 外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫

指導・支援にあたるのは元教員・保育士および教育や福祉等を志す学生等が中心であり、平日の学校支援員やスクーリングケアサポーターを兼ねている者もいる。人から人にリレーされる「人材情報」を大切に扱い、人材の確保と発掘に努めている。

■ 体系的・継続的な取組にするための工夫

- ・対象児童の人数・・・適正規模を維持し、指導・支援の質を保てる範囲内とすること。
- ・目的の共通理解・・・自分の弱みを認めながらも課題に取り組み、力がつくことを自覚して自尊感情が高まること。
- ・体制の構築・・・現職の教員は管理職のみとし、運営もスタッフも地域人材が担うこと。

■ 事業の成果と課題

- 間違いを恐れずに課題に取り組むことで、スタッフと児童および児童同士の間に自己開示的な人間関係が形成される。
- 専門家による音読指導を組み込んでいることにより、大切なポイントの理解や自分の変容に対する自覚が生まれる。
- △家庭状況や児童の意向の変化により、通いたくても通い続けられなくなる児童が年間1～2人発生する。

■ その他

- ・外国にルーツのある児童の支援を行う場の構築について検討を重ねている。



【 音読に取り組む・・・ 】

報告書記入者（ 校長 ）

学校や地域で学ぶ土曜日教室～小中連携・地域でつながる子どもたち～

湖南省	活動名：学校や地域で学ぶ土曜日教室	菩提寺小学校 学校運営協議会：■有 □無 有の場合 → 学校運営協議会との協働：■有 □無
主な活動場所：菩提寺小学校、菩提寺まちづくりセンター 年間開催日数：10日 地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）数：2人（兼務2人） 平均参加人数：31人 平均スタッフ数：5人 開始年度：平成26年度 ・活動内容：■学習支援 ■体験活動 ■芸術・文化 □スポーツ ■その他（郷土学習）		

■ 活動の概要・特徴的な活動

- ・夏休み勉強会
- ・郷土学習 他

■ 外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫

学区内にある竹林の竹を活用し、門松や竹とんぼ作り。地元の川の生き物を調べる学習。その際、まちづくり協議会に材料の調達・製作指導など事前準備等の協力をいただいている。

■ 体系的・継続的な取組にするための工夫

自分たちの住んでいる地域のことを学習に取り入れることで、地元の事を知る機会が増えた。今後も、自分たちの住んでいる地域のことに興味を持てるような学習が出来たらと思う。

■ 事業の成果と課題

参加者数も安定してきたが、活動内容によっては参加人数が一桁の時もある。無理のない活動を進めていきたいが、参加しやすい内容を考える必要がある。参加人数に対してスタッフ不足の時があるので、今後の課題でもある。

■ その他



【 12月門松作り 】

報告書記入者（ 地域学校協働活動推進員 ）

菩提寺学区 土曜日の教育支援活動 ～地域の子どもが繋がる～

湖南省	活動名：菩提寺学区 土曜日の教育支援活動 ～わくわく体験・学習活動～	菩提寺北小学校 学校運営協議会：■有 □無 有の場合 → 学校運営協議会との協働：■有 □無
主な活動場所：菩提寺北小学校、菩提寺まちづくりセンター 年間開催日数：10日 地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）数：1人 平均参加人数：45人 平均スタッフ数：5人 開始年度：平成22年度 ・活動内容：■学習支援 ■体験活動 ■芸術・文化 □スポーツ □その他（ ）		

■ 活動の概要・特徴的な活動

菩提寺学区にある菩提寺北小学校・菩提寺小学校の2校が菩提寺まちづくり協議会の支援のもと、年に10回の土曜日の教育支援活動をおこなっている。今年も門松作りや、ペットボトルロケットなど、学習以外の体験を親子でおこなった。

■ 外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫

講師や指導は、すべて地域の方をお願いした。また推進員以外にもたくさんの支援員がサポートし、2校集まったの大人数の開催の体験活動もスムーズにおこなわれた。

■ 体系的・継続的な取組にするための工夫

費用の面、体験内容の多様性もあり、菩提寺まちづくり協議会の支援が不可欠である。小学校単位では、なかなかできないものも多く、これからも協働で進めていきたい。

■ 事業の成果と課題

興味深い体験活動が多く、たくさんの子どもたちが目を輝かせているのが印象的である。また親子での参加とされる活動内容も多く、土曜日や休日ということもあり多くの父親の参加も見られ親子での貴重な時間ともなっている。



【 子どもたちが作った門松 】

報告書記入者（ 地域学校協働活動推進員 ）

地域ぐるみで子どもを見守る「さんさん教室」

湖南省	活動名：さんさん教室	三雲小学校	学校運営協議会：□有 ■無 有の場合 → 学校運営協議会との協働：□有 □無
主な活動場所：吉永公民館、夏見公民館、柑子袋まちづくりセンター 年間開催日数：10日 地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）数：1人（兼務0人） 平均参加人数：40人 平均スタッフ数：15人 開始年度：平成27年度 ・活動内容：■学習支援 ■体験活動 ■芸術・文化 □スポーツ □その他（ ）			

- 活動の概要・特徴的な活動
 - ・夏休みの宿題や自主学習の支援、折り紙アートによるうちわ作り、お抹茶やダンス等の体験学習も取り入れた。
 - ・秋季には、歴史探訪（天保義民碑・文五郎碑）を実施した。
- 外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫
 - ・みくも学区まちづくり協議会と連携し、参加者増加にも対応できるスタッフの配置や材料費の支援を受けることができた。
- 体系的・継続的な取組にするための工夫
 - ・安全面を考え、学区内のまちづくりセンター等4か所の会場にて開催した。
 - ・講師を地域の中から迎えることで、広く活動を知っていただく機会とする。
- 事業の成果と課題
 - ・学習だけではなく、参加型の体験を合わせて企画したことで、参加者が増加した。
- その他
 - ・「スモールティーチャー」として中学生の協力を得ることが出来、双方の学びとすることが出来た。



【 お抹茶体験 】

報告書記入者（ 地域学校協働活動推進員 ）

地域と協働して開く「東っこ教室」

湖南省	活動名：ひがしっこ教室	三雲東小学校	学校運営協議会：□有 ■無 有の場合 → 学校運営協議会との協働：□有 □無
主な活動場所：みくもふれあいセンター 年間開催日数：10日 地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）数：1人（兼務1人） 平均参加人数：30人 平均スタッフ数：3人 開始年度：平成26年度 ・活動内容：■学習支援 ■体験活動 ■芸術・文化 □スポーツ □その他（ ）			

- 活動の概要・特徴的な活動
 - ・学習会、お抹茶体験、交流遊び(昔遊び・ワードバスケット)、親子パン教室、折り紙アート、ふるさと歴史探訪「天保義民碑」「文五郎顕碑」、書初め教室
- 外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫
 - ・三雲学区まちづくり協議会との連携
 - ・コーディネーター、推進員、まちづくり協議会等の人脈活用
 - ・小中連携による学生ボランティア(スモールティーチャー募集)
 - ・「ひがしっこ教室」OBへの声掛け
- 体系的・継続的な取組にするための工夫
 - ・学習会「ひがしっこ教室」のスタイルは開催当初から基本的に変えていない。
 - ・「自主・協力」「異学年交流」を大切にしている。
 - ・地域人材を活用した体験学習を取り入れ、学力補充以外にも関わっていただける機会を作った。
- 事業の成果と課題
 - ・リピーターが多くなった。年々、開催を楽しみに待っている児童が増加している。
 - ・三雲学区まちづくり協議会と連携していることにより、スタッフや体験学習の内容が充実してきた。
 - ・地域に頼りきりにならないよう、保護者の中からも支援者を発掘していくことが課題である。



【 折り紙アートの制作活動 】

報告書記入者（ 地域学校協働活動推進員 ）

ボランティアさんと一緒に夏休みの宿題をやっつけよう！「しもしょうサマースクール 2019」

湖南省	活動名：しもしょう土曜教室 ～しもだっこは地域の子～	下田小学校 学校運営協議会：■有 □無 有の場合 → 学校運営協議会との協働：■有 □無
主な活動場所： 年間開催日数：10日 地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）数：3人 平均参加人数：20人 平均スタッフ数：10人 開始年度：平成26年度 ・活動内容：■学習支援 ■体験活動 □芸術・文化 □スポーツ □その他（ ）		

■ 活動の概要・特徴的な活動

下田小学校で土曜日の教育支援活動が始まってから毎年実施している「しもしょうサマースクール」ですが、夏休みの宿題を早々に終わらせる児童も多く参加者が数年前より減少していたため、内容を自由研究に役立つものなどに変更して実施していた。

しかし、夏休みの宿題を集中してみんなで一緒にやることも大事な経験のひとつと考え、今年度は夏休みの宿題（ワークや自主学習）をするという取組にし、児童たちの見守りや宿題の指導を地域の中学生や高校生、大学生にお願いした。

■ 外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫

毎年、日枝中学校と連携し、中学生ボランティアを募っているが、それだけではなく、下田小学校の卒業生と日頃から連絡を取り合い、協力をお願いしている。

■ 体系的・継続的な取組にするための工夫

小学生参加者は「教えてもらう」側ではあるが、将来は「教える」側になるということを支援している大人が常に意識し、子どもたちに伝えている。「教える」側として参加するようになった子どもたち（中、高、大学生）も、小学生があこがれる存在でいるように意識しながら接している為、過去に参加したことのある子どもたちが「教える」側として戻ってきてくれている。

■ 事業の成果と課題

宿題を少しでも終わらせることはもちろんだが、地域の中学生や高校生、大学生たちと交流することができる場になっている。宿題をするのが苦手な児童の参加が少ないようなので、そういった課題のある児童が参加しやすい



【 学習の様子 】

報告書記入者（ 地域学校協働活動推進員 ）

ふるさとを知ろう、知ってもらおう！～地域でつながれみとっこ！～

湖南省	活動名：土曜教育支援活動	水戸小学校 学校運営協議会：■有 □無 有の場合 → 学校運営協議会との協働：■有 □無
主な活動場所：サンヒルズ甲西 年間開催日数：10日 地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）数：3人（兼務2人） 平均参加人数：34人 平均スタッフ数：8人 開始年度：平成26年度 ・活動内容：■学習支援 ■体験活動 □芸術・文化 □スポーツ □その他（ ）		

■ 活動の概要・特徴的な活動

CSを導入した年であることから活動がスタートした年として、学校や子どもたちを知ってもらうことが第一とし地域にPRに出かけ、子どもたちが活動できる場づくりに取り組んだ。

■ 外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫

まちづくり協議会の主催する納涼祭やフェスタでビラ配りや掲示のポスターを制作した。

■ 体系的・継続的な取組にするための工夫

まちづくりフェスタでは4年生以上を対象に実行委員を募り小学生が考えたクイズをスタンプラリーにして受付やクイズの出題、景品引き換えを担当した。今年は初めて田代が池公園で行われているペットボトルツリーイルミネーションの制作、飾りつけも行った。

小中連携事業である宿題応援隊・夏の絵画教室では学校とサンヒルズ甲西の二か所を会場にし、まちづくり協議会の青少年部会と合同で体験教室を開催した。

■ 事業の成果と課題

自治会の避難訓練や清掃に地域の一員として参加できたことや、昨年から続いてフェスタに参画したことで小学生の活躍する姿を見た地域の方から「がんばってるね！」とお褒めの言葉をかけてもらえた。子どもたちが自信をつけていく様子を間近で見ていると大人が思っている以上に子どもが力を持っていることがわかり、大人はこうしたたくさんの「場」を用意することが重要だとわかった。今ある地域の「場」を地域だけ、学校だけで考えるのではなく共に話し合いながら活動を進めていくことが来年以降の課題である。



【 フェスタでクイズ出題！ 】

報告書記入者（ 地域学校協働活動推進員 ）

子どもの五感を最大限に使って豊かな心や生きる力を育む

東近江市	蒲生マックスクラブ マックスダンス（初級）	蒲生東小学校 蒲生西小学校 蒲生北小学校 朝桜中学校 学校運営協議会： ☐ 有 ☒ 無
主な活動場所：蒲生コミュニティセンター 年間開催日数：11日 地域学校協働活動推進員数：1人（兼務1人） 平均参加人数：5人 平均スタッフ数：1人 開始年度：平成24年度 ・活動内容： ☐ 学習支援 ☐ 体験活動 ☒ 芸術・文化 ☐ スポーツ ☐ その他（ ）		

■ 活動の概要・特徴的な活動

- ・基礎的なステップを中心にダンスの練習を行っている。
- ・積極的に地区や市の大会に出場し活動している。
- ・地域の行事やイベントに参加し発表している。

■ 体系的・継続的な取組にするための工夫

- ・初級クラスにおいては、練習でも発表でも常に楽しい雰囲気を大切にしている。
- ・子どもたちの意欲が継続し高まるように工夫している。

■ 事業の成果と課題

- ・子どもたちは、意欲的に教室に参加している。
- ・今まで継続的に行われてきた教室であるため、翌年はレベルを上げた教室に参加する子どもが多く、段階を経て上達することができている。
- ・練習時間が短いため全体の動きを合わせることが難しい時がある。
- ・練習場所が狭く、全体練習の感覚がつかみにくい。



【 発表会の様子 】

報告書記入者（ 蒲生マックスクラブ 代表 ）

子どもの五感を最大限に使って豊かな心や生きる力を育む

東近江市	蒲生マックスクラブ マックスダンス（中級）	蒲生東小学校 蒲生西小学校 蒲生北小学校 朝桜中学校 学校運営協議会： ☐ 有 ☒ 無
主な活動場所：蒲生コミュニティセンター 年間開催日数：11日 地域学校協働活動推進員数：1人（兼務1人） 平均参加人数：9人 平均スタッフ数：1人 開始年度：平成26年度 ・活動内容： ☐ 学習支援 ☐ 体験活動 ☒ 芸術・文化 ☐ スポーツ ☐ その他（ ）		

■ 活動の概要・特徴的な活動

- ・初級クラスより難度の高いステップを中心に、フリースタイルダンスの練習を行っている。
- ・地域の行事やイベントにも参加し、会場を盛り上げている。
- ・初級クラスでダンス経験を積んだ子どもたちの加入が多く、より高度な内容で目標を定めて活動を行っている。

■ 体系的・継続的な取組にするための工夫

- ・発表会や大会に出場する中で、みんなで共通の目標を持ちながら活動するようにしている。
- ・目標を持ち、子どもたちがメリハリを持って練習に取り組めるように工夫している。

■ 事業の成果と課題

- ・大会出場を重ねることで、子どもたちはより難度の高い技能やステージ発表を希望するようになり、意欲的な取組みの姿勢が見られた。
- ・ダンスが高度になるほど、その技能の習得にも個人差が出てくるため、ステージ発表をどのレベルで納得させ、演技するのが指導者として難しい。



【 発表会の様子 】

報告書記入者（ 蒲生マックスクラブ 代表 ）

子どもの五感を最大限に使って豊かな心や生きる力を育む

東近江市	蒲生マックスクラブ マックスダンス（上級）	蒲生東小学校 蒲生西小学校 蒲生北小学校 朝桜中学校 学校運営協議会： ☐ 有 ☒ 無
主な活動場所：蒲生コミュニティセンター 年間開催日数：11日 地域学校協働活動推進員数：1人（兼務1人） 平均参加人数：12人 平均スタッフ数：1人 開始年度：平成27年度 ・活動内容： ☐ 学習支援 ☐ 体験活動 ☒ 芸術・文化 ☐ スポーツ ☐ その他（ ）		

■ 活動の概要・特徴的な活動

- ・中級クラスより難度の高いステップを中心に、フリースタイルダンスの練習を行っている。
- ・ステージでの発表を活動の中心として、積極的に各大会に出場している。
- ・中級クラスでダンス経験を積んだ子どもたちの加入が多く、より高度な内容で目標を定めて活動を行っている。

■ 体系的・継続的な取組にするための工夫

- ・発表会や大会に出場する中で、みんなで共通の目標を持ちながら活動するようにしている。
- ・子どもたちが目標に向かってメリハリを持って練習に取り組めるように工夫している。

■ 事業の成果と課題

- ・大会出場を重ねることで、子どもたちはより難度の高い技能やステージ発表を希望するようになり、意欲的な取組みの姿勢が見られた。
- ・ダンスが高度になるほど、その技能の習得にも個人差が出てくるため、ステージ発表をどのレベルで納得させ、演技するのが指導者として難しい。



【 発表会の様子 】

報告書記入者（ 蒲生マックスクラブ 代表 ）

子どもの五感を最大限に使って豊かな心や生きる力を育む

東近江市	蒲生マックスクラブ KIDS FLOWER（キッズフラワー）	蒲生東小学校 蒲生西小学校 蒲生北小学校 朝桜中学校 学校運営協議会： ☐ 有 ☒ 無
主な活動場所：蒲生コミュニティセンター 年間開催日数：7日 地域学校協働活動推進員数：1人（兼務1人） 平均参加人数：8人 平均スタッフ数：2人 開始年度：平成14年度 ・活動内容： ☐ 学習支援 ☐ 体験活動 ☒ 芸術・文化 ☐ スポーツ ☐ その他（ ）		

■ 活動の概要・特徴的な活動

- ・フラワーアレンジメントの基礎的な作り方やアレンジの方法を習得する。
- ・じっくりと落ち着いて取り組むことで、創造することの楽しさを味わってもらう。

■ 体系的・継続的な取組にするための工夫

- ・楽しみながら活動することを通じて、仲間づくりもできるように工夫している。
- ・完成した作品を地域の行事などに展示して、創作意欲を高めるようにしている。

■ 事業の成果と課題

- ・熱心に作成する子どもたちの様子から、集中力や持続力を養えたと考える。
- ・フラワーアレンジメントに対するアレンジ力や創造力が身についた。
- ・材料費がかかるため、少ない予算の中で充実した活動を行うのは大変である。



【 クラブ員の作品展示 】

報告書記入者（ 蒲生マックスクラブ 代表 ）

子どもの五感を最大限に使って豊かな心や生きる力を育む

東近江市	蒲生マックスクラブ あかねジュニアバンド	蒲生東小学校 蒲生西小学校 蒲生北小学校 朝桜中学校 学校運営協議会： ☐ 有 ☒ 無
主な活動場所：蒲生コミュニティセンター 年間開催日数：48日 地域学校協働活動推進員数：1人（兼務1人） 平均参加人数：20人 平均スタッフ数：2人 開始年度：平成28年度 ・活動内容： ☐ 学習支援 ☐ 体験活動 ☒ 芸術・文化 ☐ スポーツ ☐ その他（ ）		

■ 活動の概要・特徴的な活動

- ・毎週練習を行い、各大会等に出場して演奏の経験を積み重ねている。
- ・子どもたちの健康を考え、永久歯が生えそろう小学校3年生以上を対象にしている。

■ 外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫

- ・クラブ員の保護者等、経験のある方の協力を得ている。
- ・指導者の知り合い等で他地域の指導をしている方の協力も得ている。

■ 体系的・継続的な取組にするための工夫

- ・練習が単調にならないよう簡単な曲を演奏するようにしている。
- ・発表会に出場して、ステージに対する意欲を高めるとともに、年間の活動についてもメリハリをつけるようにしている。



【 体験会の様子 】

■ 事業の成果と課題

- ・曲が演奏できるようになると、よりよいものへと子どもたちも求めるようになってきた。
- ・保護者の方で楽器心得のある方が補助としてサポートしてくれるようになった。
- ・週一回の練習のため、上達に時間がかかる。

報告書記入者（ 蒲生マックスクラブ 代表 ）

子どもの五感を最大限に使って豊かな心や生きる力を育む

東近江市	蒲生マックスクラブ 陶芸クラブ	蒲生東小学校 蒲生西小学校 蒲生北小学校 朝桜中学校 学校運営協議会： ☐ 有 ☒ 無
主な活動場所：蒲生コミュニティセンター 年間開催日数：11日 地域学校協働活動推進員数：1人（兼務1人） 平均参加人数：15人 平均スタッフ数：6人 開始年度：平成14年度 ・活動内容： ☐ 学習支援 ☐ 体験活動 ☒ 芸術・文化 ☐ スポーツ ☐ その他（ ）		

■ 活動の概要・特徴的な活動

- ・好きな作品を作ったり絵付けをしたりして、思い思いの作品作りをしている。
- ・マックスクラブ発表会で地域の子どもたちに体験教室を実施している。

■ 外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫

- ・蒲生地区で活動されている「あかね陶芸クラブ」に指導をお願いしている。

■ 体系的・継続的な取組にするための工夫

- ・子どもたちの自主性を尊重し、出来るだけ指導者は手を出さないようにしている。
- ・体験教室を実施することで、その面白さや楽しさを他の子どもたちに体験してもらいクラブ員を増やす工夫をしている。



【 体験会の様子 】

■ 事業の成果と課題

- ・陶芸に関心のある子どもが増えており、常にクラブ員が一定数集まる。
- ・作陶に積極的に取り組み、作品作りに集中する様子が見られた。
- ・制作時間に個人差があり、早く終わった子どもや丁寧にゆっくり作業を進める子どもへの対応が難しい。

報告書記入者（ 蒲生マックスクラブ 代表 ）

子どもの五感を最大限に使って豊かな心や生きる力を育む

東近江市	蒲生マックスクラブ ガリ版クラブ	蒲生東小学校 蒲生西小学校 蒲生北小学校 朝桜中学校 学校運営協議会： ☐ 有 ☒ 無
主な活動場所：蒲生コミュニティセンター 年間開催日数：11日 地域学校協働活動推進員数：1人（兼務1人） 平均参加人数：2人 平均スタッフ数：1人 開始年度：令和元年度 ・活動内容： ☐ 学習支援 ☐ 体験活動 ☒ 芸術・文化 ☐ スポーツ ☐ その他（ ）		

■ 活動の概要・特徴的な活動

- ・制作上の面白さと同時に、ガリ版発祥の地としての意義も伝えている。
- ・一人ひとり制作する内容が違うので、それぞれの思いを大事にしている。

■ 外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫

- ・ガリ版をともなった地域おこしとして来られている協力隊の方に指導してもらっている。

■ 体系的・継続的な取組にするための工夫

- ・最初は簡単な作業で出来るガリ版印刷をおこない、次第に自分の好きな図柄等に移行していくようにしている。

■ 事業の成果と課題

- ・ガリ版印刷の楽しさを理解してもらうと同時に、蒲生地区がその始まりの地であることを理解してもらえた。
- ・地味な作業であるためPRが難しく、仲間の輪を広げることに時間がかかる。



【 活動の様子 】

報告書記入者（ 蒲生マックスクラブ 代表 ）

子どもの五感を最大限に使って豊かな心や生きる力を育む

東近江市	蒲生マックスクラブ 蒲生野太鼓わらべ組	蒲生東小学校 蒲生西小学校 蒲生北小学校 朝桜中学校 学校運営協議会： ☐ 有 ☒ 無
主な活動場所：あかね文化ホール 年間開催日数：40日 地域学校協働活動推進員数：1人（兼務1人） 平均参加人数：18人 平均スタッフ数：5人 開始年度：平成14年度 ・活動内容： ☐ 学習支援 ☐ 体験活動 ☒ 芸術・文化 ☐ スポーツ ☐ その他（ ）		

■ 活動の概要・特徴的な活動

- ・基本的な和太鼓の演奏方法を学習する。
- ・和太鼓文化に触れながら、演奏技術の向上と集団で演奏する楽しさを学ぶ。
- ・通常の練習は、初心者と経年者を時間差で分けて練習している。

■ 外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫

- ・わらべ組を卒業した高校生や大学生及び社会人等に指導してもらっている。

■ 体系的・継続的な取組にするための工夫

- ・習熟度別に初心者向きと中級者向きに分かれて練習し、子どもたちの意欲が途切れないように工夫している。
- ・先輩が後輩を指導する等、縦のつながりも大切にしながら活動している。

■ 事業の成果と課題

- ・マックスクラブを卒業しても、上部団体の「鈴温泉太鼓」に加入し、和太鼓を続けるクラブ員が多い。後輩（わらべ組）の指導にも積極的に協力してくれるので、小中学生と青少年層とのつながりができている。



【 発表会の様子 】

報告書記入者（ 蒲生マックスクラブ 代表 ）

子どもの五感を最大限に使って豊かな心や生きる力を育む

東近江市	蒲生マックスクラブ 茶道クラブ	蒲生東小学校 蒲生西小学校 蒲生北小学校 朝桜中学校 学校運営協議会： ☐ 有 ☒ 無
主な活動場所：蒲生コミュニティセンター 年間開催日数：10日 地域学校協働活動推進員数：1人（兼務1人） 平均参加人数：4人 平均スタッフ数：2人 開始年度：平成14年度 ・活動内容： ☐ 学習支援 ☐ 体験活動 ☒ 芸術・文化 ☐ スポーツ ☐ その他（ ）		

■ 活動の概要・特徴的な活動

- ・茶道経験のない子がほとんどなので基本から学んでいる。
- ・茶道の所作と併せて基本的な礼儀作法について学ぶ。

■ 外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫

- ・指導者を見つけるために人材バンクやボランティアグループのリストを利用している。
- ・指導者間のネットワークも利用している。

■ 体系的・継続的な取組にするための工夫

- ・年度末に体験教室を開き、面白さや楽しさをより多くの子どもたちに感じてもらい、クラブ員を増やす工夫をしている。

■ 事業の成果と課題

- ・クラブ員はより深く茶道を理解することにより、自ら練習に集中する様子が見られる。
- ・動き自体が地味な活動なので、その面白さが理解されにくい。



【 稽古の様子 】

報告書記入者（ 蒲生マックスクラブ 代表 ）

子どもの五感を最大限に使って豊かな心や生きる力を育む

東近江市	蒲生マックスクラブ 囲碁・将棋クラブ	蒲生東小学校 蒲生西小学校 蒲生北小学校 朝桜中学校 学校運営協議会： ☐ 有 ☒ 無
主な活動場所：蒲生コミュニティセンター 年間開催日数：11日 地域学校協働活動推進員数：1人（兼務1人） 平均参加人数：7人 平均スタッフ数：3人 開始年度：平成19年度 ・活動内容： ☐ 学習支援 ☐ 体験活動 ☒ 芸術・文化 ☐ スポーツ ☐ その他（ ）		

■ 活動の概要・特徴的な活動

- ・囲碁将棋の基本を学ぶことにしている。
- ・囲碁や将棋に親しむことを目的とし、小中学生を対象とした初心者向きの内容としている。

■ 外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫

- ・地域に住む囲碁将棋愛好会を指導者として、小中学生を対象とした初心者向きの教室を開催している。

■ 体系的・継続的な取組にするための工夫

- ・集中力が持続するように、休憩を入れたり活動時間を短めにしたりする等の工夫をしている。
- ・レベルに応じて指導者対クラブ員、クラブ員同士の対局を行う等、活動に変化を取り入れ、子どもたちの囲碁将棋に対する意欲が持続するように工夫している。

■ 事業の成果と課題

- ・囲碁や将棋にさらに深く興味を持ってくれる子どもが出てきている。
- ・活動や対局を通じて世代間を越えて楽しむ様子が見られた。
- ・対局において、教えたり、教えてもらったりする等のコミュニケーションを大切に、世代間の交流が活発になるように工夫している。



【 体験教室の様子 】

報告書記入者（ 蒲生マックスクラブ 代表 ）

子どもの五感を最大限に使って豊かな心や生きる力を育む

東近江市	活動名： 蒲生マックスクラブ わくわくチャレンジ隊	蒲生東小学校 蒲生西小学校 蒲生北小学校 朝桜中学校 学校運営協議会： ☐ 有 ☒ 無
主な活動場所：蒲生地区を主とした滋賀県内のフィールド 年間開催日数：10日 地域学校協働活動推進員数：1人（兼務1人） 平均参加人数：15人 平均スタッフ数：4人 開始年度：平成20年度 ・活動内容： ☐ 学習支援 ☒ 体験活動 ☐ 芸術・文化 ☐ スポーツ ☒ その他（郷土学習）		

■ 活動の概要・特徴的な活動

- ・館外活動が基本であり、子どもたちの五感を使った活動をこころがけている。
- ・地域の自然にふれあいながら、新たな発見を体験する。
- ・低学年は保護者と一緒に、高学年は自分一人で活動している。

■ 外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫

- ・蒲生地区にお住まいの方で協力していただける方を内容に応じて依頼している。

■ 体系的・継続的な取組にするための工夫

- ・活動内容の中で継続して観察するものや比較して違いを認識するもの等でクラブ員の興味を引き付けるようにしている。

■ 事業の成果と課題

- ・東近江地域への理解を深めることができた。
- ・クラブ員に年齢差があり、同じ内容の活動をして時間差が生じてしまう。



【 カヌー体験 】

報告書記入者（ 蒲生マックスクラブ 代表 ）

夢中になれるものを見つけよう。ダンスは皆を笑顔にしてくれる！

東近江市	玉緒キッズダンス教室（初級）	玉緒小学校 学校運営協議会： ☐ 有 ☒ 無
主な活動場所：玉緒小学校 体育館 年間開催日数：30日 地域学校協働活動推進員数：1人 平均参加人数：20人 平均スタッフ数：4人 開始年度：平成27年度 ・活動内容： ☐ 学習支援 ☐ 体験活動 ☐ 芸術・文化 ☒ スポーツ ☐ その他（ ）		

■ 活動の概要・特徴的な活動

インストラクターに来てもらい、地域の顔見知りの子どもたちが集まり、小学校区域内でダンスレッスンをやっている。

■ 外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫

地域の夏祭りや文化祭等でオープニングを飾り、日頃の練習成果を発表している。

■ 体系的・継続的な取組にするための工夫

遠くのダンス教室ではなく、身近な小学校の体育館を借りて実施している。

■ 事業の成果と課題

- ・全身を使ってリズムに合わせて踊る練習を積み重ねることにより、リズム感が身についた。
- ・インストラクターの謝金等、補助金の増額を希望する。

■ その他

夜なので窓に映った姿を見て頑張っているが、鏡があるとさらに練習効果が高まる。



【 集合写真 】

報告書記入者（ 玉緒キッズダンス教室 代表 ）

夢中になれるものを見つけよう。ダンスは皆を笑顔にしてくれる！

東近江市	玉緒キッズダンス教室（パンキング・中級）	玉緒小学校 学校運営協議会： ☐ 有 ☒ 無
主な活動場所：玉緒小学校 体育館 年間開催日数：30日 地域学校協働活動推進員数：1人 平均参加人数：15人 平均スタッフ数：4人 開始年度：平成27年度 ・活動内容： ☐ 学習支援 ☐ 体験活動 ☐ 芸術・文化 ☒ スポーツ ☐ その他（ ）		

■ 活動の概要・特徴的な活動

初級から徐々に技術を上げていき、ヒップホップダンスの面白さを子どもたちに味わってもらい、楽しんで参加できるように心がけている。

■ 外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫

今年は、身体障害者フェスティバルにも参加し、日頃の練習成果を市民の皆さんに発表し、地域との繋がりをアピールした。

■ 体系的・継続的な取組にするための工夫

- ・入門から参加している子どもたちは、かなり表現力も身に着き、自信を持って取り組む姿勢が出てきた。
- ・表現力を高める事のUPを図り、子どもたちが楽しめる取組に全力をあげている。

■ 事業の成果と課題

- ・様々な動きを身に着けることにより、体の柔軟性、俊敏性が高まった。
- ・ヒップホップダンスは、見た目以上にかなりハードであり、練習を通して基礎体力が身についた。

■ その他

音楽に合わせて楽しく踊る。出来なくてもいい。楽しければそれでよし！



【 フェスティバルでのステージの様子 】

報告書記入者（ 玉緒キッズダンス教室 代表 ）

楽しく、気軽にお茶の世界に触れてみよう！

東近江市	五個荘地区 OH!茶!チャ!チャ!	五個荘小学校 学校運営協議会： ☐ 有 ☒ 無
主な活動場所：てんびんの里文化学習センター 年間開催日数：12日 地域学校協働活動推進員数：1人 平均参加人数：10人 平均スタッフ数：6人 開始年度：平成20年度 ・活動内容： ☐ 学習支援 ☐ 体験活動 ☒ 芸術・文化 ☐ スポーツ ☐ その他（ ）		

■ 活動の概要・特徴的な活動

小学校が週休二日制になり、土曜日の子どもの居場所づくりの為に地区の茶道クラブのメンバーが中心となり、茶道を教える。

■ 外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫

五個荘地区の行事である、五個荘ぶらりまち歩き、学習センター主催のひなまつり貝合わせに子どもの発表の場として参加している。

■ 体系的・継続的な取組にするための工夫

活動を始めて20年以上継続できている。低学年から高学年まで少人数で全ての子どもに目が行きわたるようにサポートしている。

■ 事業の成果と課題

1年生の時から参加している子どもたちは、6年生まで継続して参加している。小学校を卒業した後、茶道が続けられる場所をどのようにすればよいか思案中。

■ その他

- ・小学生の子どもたちにとっては、私達サポーターはおばあちゃん世代である。
- ・礼儀、所作等を子どもたちに教えているつもりでも、子どもたちから教えられる事もある。
- ・サポーターが増え、今より多くの子どもたちが参加できるよう、活動を広げていきたい。



【 お茶どうぞ! 】

報告書記入者（ 五個荘地区 OH!茶!チャ!チャ! 代表 ）

将棋をととして、子供の教育的側面の育成・礼儀・大人とのコミュニケーションを学ぶ

東近江市	五個荘地区 将棋同好会	五個荘小学校 学校運営協議会 : ☐ 有 ☒ 無
主な活動場所: 五個荘コミュニティセンター 年間開催日数: 12日 地域学校協働活動推進員数: 1人 平均参加人数: 20人 平均スタッフ数: 10人 開始年度: 平成31年度 ・活動内容: ☐ 学習支援 ☐ 体験活動 ☐ 芸術・文化 ☐ スポーツ ☒ その他 (将棋)		

■ 活動の概要・特徴的な活動

将棋の娯楽を通じて、将棋の持つ特別な側面、思考力・集中力・決断力・洞察力の養成や、日常生活の礼節を身に着けることが出来る等、子どもたちへの教育的効果が期待される。また、学んだ知識や経験、技術を駆使して一局を争うことは「勝った喜び」「負けた悔しさ」を通じて「相手を思いやる心」を育み、将来、いろいろな場面で活かされることに期待している。

■ 外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫

活動して頂いている大人の将棋レベルより、高レベルの児童がいるために、五個荘地区で将棋指導員クラスの方の協力を得て実施している。

■ 体系的・継続的な取組にするための工夫

- ・これまで、地区社会福祉協議会の児童教育の一環として行ってきたが、補助の終了に伴い、参加の大人にて協議の結果、継続することとした。
- ・会費や諸々の設備等の必要があるため、会費徴収にて運用をおこなっていた。

■ 事業の成果と課題

事業の成果（子どもたちの成長等）を把握することは難しいが、普段家族以外と話す機会もあまりないと思われるため、家族以外の大人とのコミュニケーションをとる等、一定の成果としてみている。また、設備等は以前のものを使用しているが、会場使用費用・将棋指導員の謝礼等、今後の継続は不透明である。



【 活動の様子 】

報告書記入者 (五個荘地区将棋同好会 代表)

めざせ！パティシエ

竜王町	活動名 : 竜王キッズクラブ おやつクラブ	竜王小学校・竜王西小学校 学校運営協議会 : ☒ 有 ☐ 無 有の場合 → 学校運営協議会との協働 : ☐ 有 ☒ 無
主な活動場所: 竜王町農村女性の家、竜王町公民館 年間開催日数: 7日 地域学校協働活動推進員 (地域コーディネーター) 数: 3名 (兼務 3名) 平均参加人数: 13名 平均スタッフ数: 1名 開始年度: 平成27年度 (中断あり) ・活動内容: ☐ 学習支援 ☒ 体験活動 ☐ 芸術・文化 ☐ スポーツ ☐ その他 ()		

■ 活動の概要・特徴的な活動

おやつ作りを通し、調理の基礎や技能の向上はもちろんのこと、両小学校の異なる年齢の子どもたち同士が地域の人々との交流を深め、さらには、何事にも挑戦する勇気を育み、自らの可能性を切り拓く「生きる力」を身につける。

■ 外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫

公民館職員の友人である地元の栄養士の方にご指導をいただくことにより、連携や情報共有が安易で、より分かり易く学ぶことができる。

■ 体系的・継続的な取組にするための工夫

地元でとれた果物等を有効活用して、子どもたちだけでも家庭で作れるメニューを考え、七夕、ハロウィン、クリスマス、バレンタインなどのイベントにあったおやつを作っている。また、地元の果物等の良さに気づき、郷土に愛着をもってもらう。

■ 事業の成果と課題

- ・子どもたちから家でも作ったという声を多く聞き、クラブ活動の場だけでなく家庭での実践に結びついている。
- ・異なる年齢の子どもが班単位で協力して料理を作ること、技能の向上はもとより、班での自分の役割をしっかりと把握し、完成させることで責任感や協調性を養うことができた。
- ・今年度から前年度までとは異なる講師の方に依頼することとなった。次年度以降の講師は白紙の状態であり、事業を継続的に安定して持続させていくためには、講師の確保が急務である。
- ・メニューやレシピの考案・作成、食材の買い出しなど、職員の負担が大きい。



【 チョコマーブルケーキ作り 】

報告書記入者 (公民館 公民館係 係長)

めざせ！家族みんなで理科博士

竜王町	活動名：竜王キッズクラブ サイエンスクラブ	竜王小学校・竜王西小学校 学校運営協議会：■有 □無 有の場合 → 学校運営協議会との協働：□有 ■無
主な活動場所：竜王町公民館 他 年間開催日数：12日 地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）数：3名（兼務 3名） 平均参加人数：17名 平均スタッフ数：3名 開始年度：平成18年度 ・活動内容：■学習支援 ■体験活動 □芸術・文化 □スポーツ ■その他（郷土学習）		

■ 活動の概要・特徴的な活動

サイエンスを通し、新しい学びや技能の向上はもちろんのこと、両小学校の異なった年齢の子どもたち同士が地域の人々との交流を深め、さらには、何事にも挑戦する勇気を育み、自らの可能性を切り拓く「生きる力」を身につける。

■ 外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫

地元の自然に関する書籍等の編纂に携わり、自然観察や自然素材を使った工作教室などを手がけている団体や元教師にご指導をいただくことにより、より分かり易く学ぶことができる。

■ 体系的・継続的な取組にするための工夫

小学校1年生から6年生までの小学生を対象に家族参加も可能としており、上の子どもだけでなく下の子どもが小学生になった際に再度クラブに入ってくれる子ども（家族）も多く、継続した取り組みができています。

■ 事業の成果と課題

- ・天体観望（夏・冬）、自然観察、野鳥観察、科学工作など、サイエンスに関わるいろいろな活動内容に取り組むことにより、理科離れがさげられる昨今ではあるが、サイエンスをはじめ何事にも興味を持ち、挑戦していく力を養うことができた。
- ・家族参加も可能なため、知識の向上はもとより、家族間の交流も深まり、情報交換や共有の場にもなった。



【 自然観察会 秋の虫とどんぐり 】

報告書記入者（ 公民館 公民館係 係長 ）

身につけろ！美文字

竜王町	活動名：竜王キッズクラブ 書道クラブ	竜王小学校・竜王西小学校 学校運営協議会：■有 □無 有の場合 → 学校運営協議会との協働：□有 ■無
主な活動場所：竜王町公民館 年間開催日数：22日 地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）数：3名（兼務 3名） 平均参加人数：15名 平均スタッフ数：2名 開始年度：平成23年度 ・活動内容：■学習支援 □体験活動 ■芸術・文化 □スポーツ □その他（ ）		

■ 活動の概要・特徴的な活動

書道を通し、硬筆・毛筆を基礎から学び、技能の向上はもちろんのこと、両小学校の異なった年齢の子どもたち同士が地域の人々との交流を深め、さらには、何事にも挑戦する勇気を育み、自らの可能性を切り拓く「生きる力」を身につける。

■ 外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫

県の展覧会等でも受賞経験のある有段者の元町職員にご指導をいただくことにより、連携や情報共有が安易で、より分かり易く学ぶことができる。

■ 体系的・継続的な取組にするための工夫

同じ講師のもと、小学校2年生から6年生までの小学生を対象として、同じ教材をもとに継続した取り組みができていますので、一度クラブに入ると6年生まで継続してくれる子どもが多い。

■ 事業の成果と課題

- ・技能の向上とともに、何度も何度も練習をし、教えてもらう継続した取り組みにより、進歩が形となって現れるため、何事にも挑戦し、あきらめない力を養うことができた。
- ・展覧会への出展や町公民館等で定期的に展示することにより、自信や達成感となり、次へと飛躍する原動力となった。
- ・年間を通して開催回数も多く、学校行事や地域行事等と重複する回は参加者が少なくなるため日程設定に工夫が必要である。また、講師の日程調整をすることも難しく、当初予定日での開催が困難となり開催日の変更も生じている。



【 硬筆の練習 】

報告書記入者（ 公民館 公民館係 係長 ）

何事にもチャレンジして、生きる力を身につけよう！

竜王町	活動名：竜王キッズクラブ チャレンジクラブ	竜王小学校・竜王西小学校 学校運営協議会：■有 □無 有の場合 → 学校運営協議会との協働：□有 ■無
主な活動場所：竜王町公民館 他 年間開催日数：12日 地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）数：3名（兼務 3名） 平均参加人数：21名 平均スタッフ数：2名 開始年度：平成22年度 ・活動内容：■学習支援 ■体験活動 □芸術・文化 ■スポーツ ■その他（郷土学習）		

■ 活動の概要・特徴的な活動

チャレンジを通し、さまざまな体験から技能の向上はもちろんのこと、両小学校の異なった年齢の子どもたち同士が地域の人々との交流を深め、さらには、何事にも挑戦する勇気を育み、自らの可能性を切り拓く「生きる力」を身につける。

■ 外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫

地元の農園や道の駅、消防署員、赤十字奉仕団、高等学校、元教師のご協力とご指導をいただくことにより、活動内容に応じて、より分かり易く学ぶことができる。

■ 体系的・継続的な取組にするための工夫

クラブの卒業生である中学生・高校生にボランティアをお願いし、小学生の身近な存在として、講師や職員の補助をお願いし、リーダー養成につなげたいと思っている。

■ 事業の成果と課題

- ・野外活動が中心となるため安全管理を十分に行う必要があり、内容によっては活動に制限を設けざるを得ないことがある。
- ・宿泊体験等は、内容によっては事前研修の必要があり、講師以外にも指導員や協力者をお願いする必要もあり、準備が大変である。
- ・カヌー体験、防災キャンプ、スキー教室等では、受講料以外に体験活動費用として負担金を徴収しなければならず、保護者の負担が増大する。



【 防災キャンプ 放水体験（着装） 】

報告書記入者（ 公民館 公民館係 係長 ）

迫力のあるバチさばきで、心に響く鼓動を！

竜王町	活動名：竜王キッズクラブ 和太鼓クラブ	竜王小学校・竜王西小学校 学校運営協議会：■有 □無 有の場合 → 学校運営協議会との協働：□有 ■無
主な活動場所：竜王町公民館 他 年間開催日数：23日 地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）数：3名（兼務 3名） 平均参加人数：13名 平均スタッフ数：1名 開始年度：平成15年度 ・活動内容：□学習支援 □体験活動 ■芸術・文化 □スポーツ □その他（ ）		

■ 活動の概要・特徴的な活動

和太鼓を通し、技能の向上はもちろんのこと、両小学校の異なった年齢の子どもたち同士が切磋琢磨し、発表会等により地域の人々との交流を深め、何事にも挑戦する勇気を育み、自らの可能性を切り拓く「生きる力」を身につける。

■ 外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫

和太鼓の演奏や指導を生業とされている方にご指導をいただくことにより、より分かり易く学ぶことができる。

■ 体系的・継続的な取組にするための工夫

同じ講師のもと、小学校3年生から6年生までの小学生を対象として、継続した取り組みができていますので、一度クラブに入った子どもは6年生まで継続してくれる子どもが多い。

■ 事業の成果と課題

- ・和太鼓の演奏や指導を生業とされている方にご指導をいただくことにより、無理なく技能の向上が図れたとともに何事にも挑戦し、あきらめない力を養うことができた。
- ・町イベント等に定期的に出演することにより、自信や達成感となり、次へと飛躍する原動力となった。
- ・異なった年齢の子どもが活動を行うことで、自分の役割をしっかりと把握し、責任感や協調性を養うことができた。
- ・和太鼓は団体での演奏であり、練習であっても一定人数がそろわないと練習にならないため、地域行事等により参加者が極端に少ない日は練習内容を変更しなければならないことがある。



【 ふるさと竜王夏まつり出演 】

報告書記入者（ 公民館 公民館係 係長 ）

奏でよう、素敵なハーモニーを！

竜王町	活動名：竜王キッズクラブ 竜王ユースプラス（吹奏楽教室）	竜王小学校・竜王西小学校 学校運営協議会：■有 □無 有の場合 → 学校運営協議会との協働：□有 ■無
	主な活動場所：竜王町公民館 他 年間開催日数：50日 地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）数：3名（兼務 3名） 平均参加人数：17名 平均スタッフ数：3名 開始年度：昭和62年度 ・活動内容：□学習支援 □体験活動 ■芸術・文化 □スポーツ □その他（ ）	

■ 活動の概要・特徴的な活動

吹奏楽を通し、音楽の基礎知識を身に付け、技能の向上や両小学校の異なる年齢の子どもたち同士が発表会等により地域の人々との交流を深め、何事にも挑戦する勇気を育み、自らの可能性を切り拓く「生きる力」を身につける。

■ 外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫

地元企業のサークルで活躍する方や元教師の方にご指導をいただくことにより、より分かり易く、学ぶことができる。

■ 体系的・継続的な取組にするための工夫

3名の講師の方にご指導をいただくことにより、分からないところはじっくりと、技能にあった練習をすることができる。また、講師不在により開催を取りやめることがなくなる。

卒業生のほとんどが中学校の吹奏楽部に入部するため、継続した活動ができる。また、中学校の吹奏楽部との良好な関係が築けているため、練習のお手伝いに来てくれることや中学校吹奏楽部の定期演奏会での合同演奏にもつながっている。

■ 事業の成果と課題

- ・県の大会や町イベント等に出演することにより、自信や達成感となり、次へと飛躍する原動力となった。
- ・異なる年齢の子どもが活動を行うことで、自分の役割をしっかりと把握し、責任感や協調性を養うことができた。
- ・受講生は担当楽器が決まっており、練習であっても一定人数がそろわないと練習にならないため、地域行事等により参加者が極端に少ない日は練習に支障がでることがある。そのため、日程設定に工夫が必要である。
- ・開催時間帯が夜間であるため、防犯対策を十分に講じる必要がある。



【ジュニアミュージックフェスティバル出演】

報告書記入者（公民館 公民館係 係長）